

「男女共同参画に関する意識調査」(案) について

1 調査の目的

男らしさ、女らしさを強制されず、それぞれが個々人の力に見合った働き方や生き方ができる、「ジェンダー平等社会」の実現をめざし、より実効性のある取組を行うための計画として策定した「かながわ男女共同参画推進プラン」の改定を検討する基礎的な資料とするため、県民の男女共同参画に関する意識の調査・分析を実施する。

2 調査方法

- (1) 調査地域：神奈川県内全域
- (2) 調査方法：インターネットを利用したモニター調査
- (3) 調査対象：神奈川県内に在住する 18 歳以上の個人（回答者数 3,000 人を予定）
- (4) サンプル設計：性・年代別ごとに回答者数が均等になるよう実施
※人口構成比による抽出ではなく、性・年代での抽出
【A】30 代以下、②40～50 代、③60 代以上について、男女別にそれぞれ約 500 人の回答を得ること。
【B】20 代以下、30 代、40 代、50 代、60 代以上の年代ごとに、男女別にそれぞれ約 300 人の回答を得ること。
- (5) 調査内容：調査対象の属性及び調査項目の設問への回答
【属性】地域、年齢、性別、配偶者の有無（又は家族構成）、子どもの有無、職業
- (6) 集計・分析：回答者の属性を含む各調査項目をクロス集計し、集計結果から読み取れる傾向などの分析を行う。

3 調査項目

回答者の負担を考え、設問は 30 項目程度とし、設問と別に自由記述を設ける。

(1) 男女共同参画全般 <8 項目、15 問>

- ・男女の地位の平等感（8 問）
- ・「ジェンダー平等」等の認知度（2 問）
- ・進路選択の理由及び時期（1 問）
- ・有配偶者の働き方（1 問）
- ・性別役割分担意識等（3 問）

(2) 家庭生活 <2 項目、3 問>

- ・家事・育児の分担（2 問）
- ・家事・育児を任せることの抵抗感（1 問）

(3) ワーク・ライフ・バランス <6 項目、8 問>

- ・休暇等の取得のしやすさ（3 問）
- ・仕事と家庭の両立に必要な環境整備（1 問）

- ・育児をきっかけとした働き方の変化（２問）
- ・職業継続と再就職に必要なこと（２問）

（４）セクシュアル・ハラスメント等 ＜３項目、３問＞

- ・各ハラスメントの被害等（３問）

（５）女性の活躍推進 ＜１項目、１問＞

- ・指導的地位に女性が少ない理由（１問）

（６）その他 ＜１項目、１問＞

- ・本調査に関する自由記述

＜補足１＞

DVや暴力に関する内容については「かながわ困難な問題を抱える女性等支援計画」の策定の際に調査している（参考資料３－３）ほか、県民ニーズ調査も実施している。

＜補足２＞

かながわ男女共同参画推進プラン（第５次）の目標値や「現状と課題」において、県民ニーズ調査の結果を活用している設問については、原則、本意識調査では調査しない。

ただし、グラフ１１・１２については、男女ともに上位が「上司・同僚の理解」であることから、男女共通の設問に変更のうえ本意識調査にて確認予定。

県民ニーズ調査

プラン	内容	調査年度
目標値	夫は外で働き妻は家庭を守るべきだ	毎年度
グラフ８	女性が職業をもつこと	R3、H28
グラフ１０	家庭における育児・親の介護の役割分担	R3
グラフ１１	女性が活躍するために必要な取組や支援	R3
グラフ１２	男性が家事や育児などにかかわるために必要なこと	R3
グラフ１３	夫婦間での暴力行為における暴力（DV）としての認識	R4
グラフ２８	男女共同参画社会の実現のために力を入れるべき施策	R3
記載なし	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ	毎年度
〃	「男女にかかわりなく、社会のあらゆる分野で個性と能力が発揮できること」の重要度と満足度	毎年度
〃	県が力を入れて取り組んでほしい分野の選択肢として「男女共同参画社会の推進」	毎年度

＜参考：プランに記載のない項目の調査結果＞

「そう思う」「そう思わない」のどちらかに○をつけてください。(○は1つ) (n=1,627) (%)	そう思う	そう思わない	無回答
(16) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ	72.5	24.2	3.3

(n=1,627) (%)	重要度						満足度							
	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	分からない	無回答	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	分からない	無回答
重要度 あなたの現在及び今後の生活において、どのくらい重要ですか。 満足度 あなたにとって、現在、どの程度満たされていると思いますか。														
(25) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	35.8	43.1	14.3	2.0	0.7	2.1	2.0	1.1	11.0	44.4	21.7	7.0	12.5	2.3

県行政への要望

問8 神奈川県の行政を進めていくうえで、力を入れて取り組んでほしい分野は何ですか。次の中から特に取り組んでほしい分野を5つまで選んでください。(○は5つまで) (n=1,627) (%)

1 治安対策	55.6	16 自然保護やみどりの保全	10.9
2 防災対策	51.5	17 地球温暖化の防止	19.6
3 交通安全対策	16.9	18 廃棄物対策やリサイクルの推進	10.0
4 NPOやボランティア活動への支援	1.5	19 大気、水質、土壌などの公害対策	9.0
5 青少年の健全育成	6.5	20 高齢者の福祉対策	31.8
6 男女共同参画社会の推進	4.2	21 障がい者の社会参加と福祉対策	7.4
7 消費者被害の防止	8.1	22 医療体制の整備	36.0
8 食の安全や食育の推進	12.3	23 病気の予防など健康対策	12.1
9 スポーツや文化芸術の振興	6.6	24 産業や観光の振興	3.5
10 道路やまちなみの整備	18.6	25 雇用対策や労働環境の整備	15.6
11 都市のバリアフリー化	9.5	26 中小企業支援	6.9
12 公共交通の利便性を高める	17.9	27 子育て支援	30.9
13 土地・住宅対策	7.4	28 学校教育の充実	18.9
14 ICT（情報通信技術）利用の推進	5.3	29 その他	3.2
15 農林水産業の振興	4.8	30 特にない、分からない	1.2
(無回答 4.7)			